

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】令和 3 年 4 月 22 日 (2021.4.22)

【公開番号】特開 2019-180135 (P2019-180135A)

【公開日】令和 1 年 10 月 17 日 (2019.10.17)

【年通号数】公開・登録公報 2019-042

【出願番号】特願 2018-67955 (P2018-67955)

【国際特許分類】

H 0 2 K 37/14 (2006.01)

H 0 2 K 5/167 (2006.01)

【F I】

H 0 2 K 37/14 5 3 5 M

H 0 2 K 5/167 B

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 3 月 5 日 (2021.3.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 3】

ボビン 4 0 は、ヨーク 2 3、2 4 を合成樹脂 4 1 によってモールドした樹脂成形品であり、ヨーク 2 3、2 4 を金型内にインサートした状態で金型内でインサート射出成形することによって構成される。合成樹脂 4 1 は、ヨーク 2 3、2 4 の外周部 2 3 2、2 4 2、および極歯 2 5 の内周面を除く部分を覆っており、ヨーク 2 3、2 4 の円環部 2 3 3、2 4 3 に重なる部分の各間には、コイル 2 1 が巻回されるスペースが構成されている。このように構成したステータ 2 0 は、ヨーク 2 3、2 4 の外周部 2 3 2、2 4 2 がモータケース 1 0 の周壁部 1 1 の内側に部分的に接するように配置されている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

ボビン 4 0 の軸線 L 方向の他方側 L b の端部には、端子台 4 5 が一体に形成されており、端子台 4 5 には、モータケース 1 0 の軸線 L 方向の他方側 L b の端部が当接している。端子台 4 5 には、軸線 L 方向と直交する第 1 方向 X に延在する複数本の端子ピン 8 0 が、軸線 L 方向および第 1 方向 X に直交する第 2 方向 Y に並列するように保持されている。端子ピン 8 0 の一方の端部 8 1 は、コイル 2 1 の端部（図示せず）が溶接やハンダ等によって接続された状態で、ボビン 4 0 に固定されたカバー 6 0 によって覆われている。この状態で、モータケース 1 0 の開口部 1 1 1 は、端子台 4 5 およびカバー 6 0 に塞がれている。端子ピン 8 0 の他方の端部 8 2 は、端子台 4 5 から突出し、外部との電氣的な接続に用いられる。